

菟田町
家庭系可燃ごみ組成調査業務
報告書

平成 28 年 3 月

一般財団法人 日本環境衛生センター

目 次

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的	1
第2節 調査内容	1
第3節 調査方法	1
第4節 調査対象地区、調査日	7
第5節 調査実施場所	8

第2章 調査結果

第1節 ごみ組成	9
第2節 ごみ水分	14
第3節 前回調査結果との比較	16

資料

組成分類・水分測定結果の収集地区別詳細

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

荻田町における家庭系可燃ごみの組成状況を調査することにより、その組成割合、資源化可能物の混入量等のデータを取得することを目的とする。

第2節 調査内容

荻田町内において収集された家庭系可燃ごみを収集地区別に採取し、ごみ組成を調査した。調査結果は、以下の点に基づき地区別に整理した。

- 組成調査結果
- リサイクル対象ごみの割合
- 組成別水分
- 過去調査結果との比較

第3節 調査方法

調査フローは、図 1-1～2 のとおりであり、調査対象地区のごみを積んだ収集車 1 台より約 100kg のごみを採取し、これを調査対象試料として表 1-1 に示す分類表に基づいて分類を行い分類項目別の重量組成を求めた。

調査は、荻田町内 3 地区について、各地区 3 検体（地域）のごみを対象に行った。

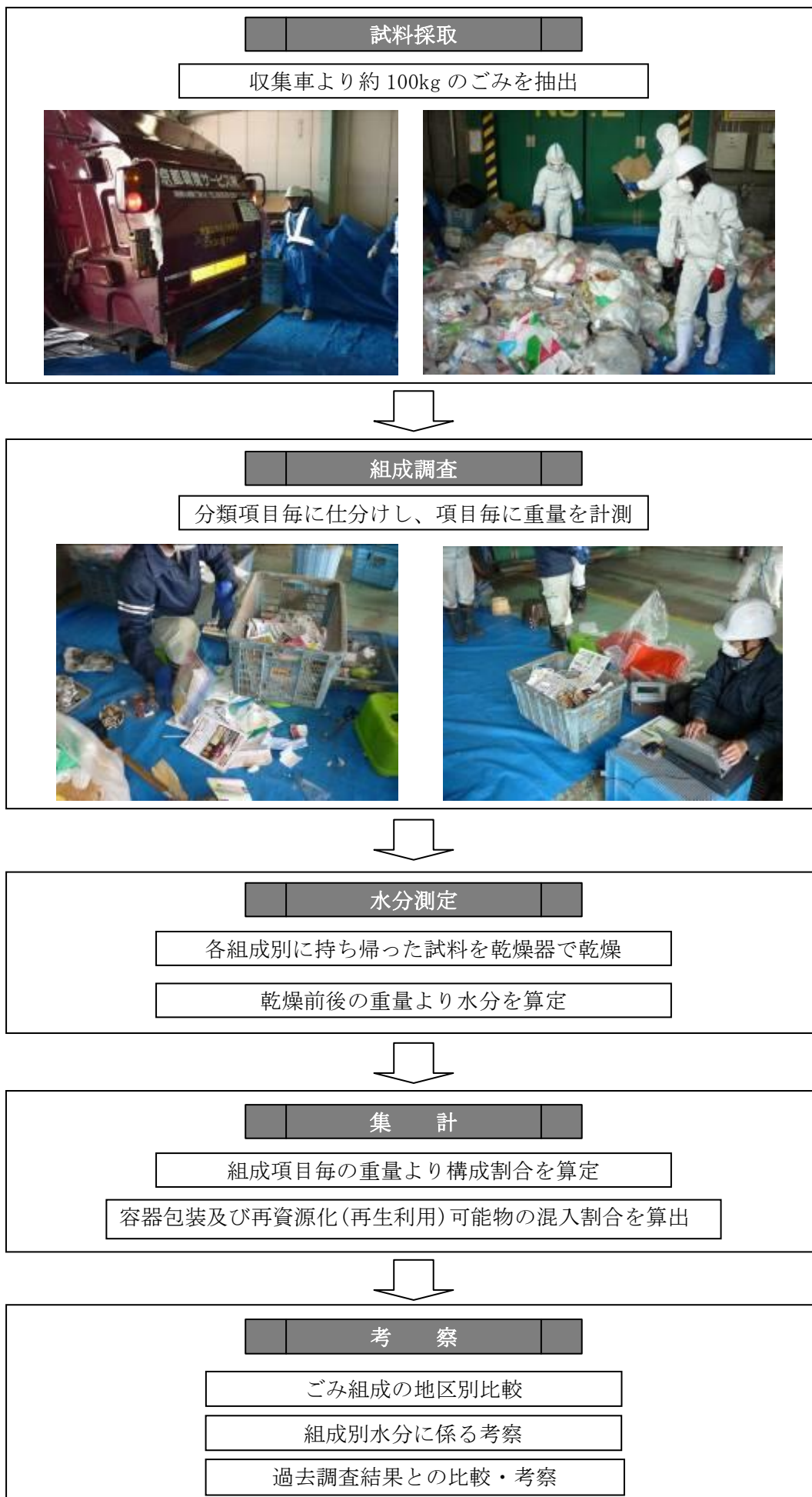


図 1-1 調査フロー



作業着手前

作業に支障となる物や危険物がないか確認。



作業場所の確保

床面に汚染防止用のブルーシートを展帳。



収集車よりごみを採取

収集車からごみを適量投下。



調査対象試料の採取

収集車から投下したごみの山の4方向からごみを採取。

図 1-2 現地調査フロー（その 1）

	<p>調査対象試料</p>
	<p>採取した調査対象ごみ(約 100kg)。</p>



	<p>組成調査状況 1</p>
	<p>破袋、細分類状況。</p>



	<p>組成調査状況 2</p>
	<p>細分類終了後の状況。</p>




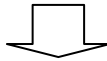
	<p>組成調査状況 3</p>
	<p>細分類した試料を項目別に計量。</p>

図 1-2 現地調査フロー (その 2)

	<p>水分測定用試料</p>
<p>細分類した試料より水分測定用試料調整。</p>	



	<p>清掃、作業終了後の確認</p>
<p>ブルーシートを取り、床面及び周辺に散乱したごみを清掃して、汚れがないか確認し作業終了。</p>	

図 1-2 現地調査フロー（その 3）

表 1-1 ごみ組成分類表

大分類	中分類	小分類	例
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	
		OA用紙類	
		雑誌・本	書籍、雑誌、カタログ、電話帳等
		段ボール	
		紙パック	牛乳パック、飲料パック等
		リサイクル可能な容器包装紙類	菓子箱、紙袋、包装紙等
	その他リサイクル可能な紙類	ノート、パンフレット、封筒、ハガキ等	
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	アルミ蒸着パック類等
		紙おむつ	
その他リサイクルできない紙類		衛生紙(ティッシュペーパー、ペーパータオル、キッチンタオル等)、使い捨ての紙類、その他	
高分子類	資源ごみ	ペットボトル(分別収集対象)	油容器を除く
	その他	白色トレイ	
		レジ袋	
		発泡スチロール	
		容器包装のプラスチック	ラップ類、袋類、カップ等
その他プラスチック類	小分類に示す品目以外		
繊維類	資源化可能な繊維類	古布、毛糸、毛布等	
	その他の繊維類	わた、布団、羽毛等	
草・木類		剪定枝、刈草、枯葉、木材、木製品、割り箸、竹串等	
厨芥類	未利用食品	小売時の状態のまま、もしくは未開封の食品	
	上記以外の厨芥		
医療系可燃ごみ		注射針等	
その他可燃ごみ		上記に分類されない可燃ごみ	
不燃物類	金属	鉄製缶類(分別収集対象)	食品、飲料用缶類
		アルミ製缶類(分別収集対象)	食品、飲料用缶類
		その他の金属類(分別収集対象)	
	ガラス	ビン類(分別収集対象)	リターナブルビン、ワンウェイビン
		その他のガラス	分別収集対象以外のビン、板ガラス
	有害物		乾電池、蛍光管、水銀体温計
その他不燃ごみ		陶磁器など上記以外の不燃ごみ	

第4節 調査対象地区、調査日

荏田町は、町内を大きく3つの地区に分け、それぞれ月・木曜日、火・金曜日、水・土曜日に可燃ごみを収集している。

調査は、これら3地区よりそれぞれ3地域を対象として実施し、3地域の平均値を当該地区のごみ組成として考察を行った。

調査対象地区、地域及び調査日は、表1-2、図1-3に示すとおりである。

表1-2 調査地区・調査日等

対象地区	対象地域	調査日
月・木曜収集地区	・馬場・堤地域 ・緑ヶ丘・尾倉（日豊線より山側）地域	平成28年2月29日
	・白川地域	平成28年3月17日
火・金曜収集地区	・与原・白石地域	平成28年2月26日
	・尾倉（日豊線より海側）・小波瀬地域 ・新津（日豊線より海側）地域	平成28年3月18日
水・土曜収集地区	・京町・神田町1丁目地域 ・松山・若久・松原地域	平成28年3月16日
	・京町地域	平成28年3月23日

第2章 調査結果

第1節 ごみ組成

地区別のごみ組成分類結果は、表 2-1 及び次のとおりである。

表 2-1 ごみ組成分類結果

組成項目			地区名							
			月・木曜地区 (%)		火・金曜地区 (%)		水・土曜地区 (%)		荊田町平均 (%)	
大分類	中分類	小分類								
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	6.6		5.2		7.5		6.4	
		OA用紙類	1.7		2.3		0.2		1.4	
		雑誌・本	1.7		3.7		2.1		2.5	
		段ボール	3.2		3.2		3.1		3.2	
		紙パック	0.4		0.4		0.6		0.5	
		その他リサイクル可能な容器包装紙類	4.7		4.1		4.3		4.4	
		4.9		5.9		3.0		4.6		
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	1.5		0.9		1.1		1.2	
		紙おむつ	6.7		7.9		5.5		6.7	
その他リサイクルできない紙類		10.5		8.3		10.0		9.6		
高分子類	資源ごみ	ペットボトル(分別収集対象)	0.3	0.3	0.4	0.4	0.1	0.1	0.3	0.3
	その他	白色トレイ	0.2		0.2		0.1		0.2	
		レジ袋	2.0		1.8		1.6		1.8	
		発泡スチロール	0.0		0.0		0.0		0.0	
		容器包装のプラスチック	10.9		10.2		10.1		10.4	
その他プラスチック類	4.0		2.7		2.5		3.1			
繊維類	資源化可能な繊維類	0.3		0.3		0.7		0.4		
	その他の繊維類	1.3		0.9		2.0		1.4		
草・木類			2.2		8.9		7.2		6.1	
厨芥類	未利用食品		1.8		2.3		2.7		2.3	
	上記以外の厨芥		31.6		28.3		30.5		30.1	
医療系可燃ごみ			0.0		0.0		0.0		0.0	
その他可燃ごみ			2.4		1.2		4.2		2.6	
不燃物類	金属	鉄製缶類(分別対象)	0.0		0.0		0.0		0.0	
		アルミ製缶類(分別対象)	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他の金属類(分別対象)	0.0		0.1		0.0		0.0	
	ガラス	ビン類(分別対象)	0.2		0.1		0.1		0.1	
		その他のガラス	0.0	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1
	有害物		0.0		0.0		0.0		0.0	
その他不燃ごみ		0.9		0.5		0.8		0.7		
合計			100.0		100.0		100.0		100.0	

備考：1. ごみ組成は、湿ベースのごみを100とした時の割合である。

2. その他可燃ごみとは、大～小分類に示す項目に該当せず、燃えるごみとして収集されているごみであり、本調査における該当物は、主に猫砂、アルミ箔である。

3. その他不燃ごみとは、中・小分類に該当しない不燃ごみであり、本調査における該当物は、主に乾燥剤である。

1. ごみ組成の地区別比較

ごみ組成分類結果（大分類）を収集地区別に比較すると、図 2-1 のとおりであり、各地区ともごみの組成比に大きな違いはない。また、各地区とも紙類と厨芥類の占める割合が多く、合計で全体の 70%以上を占めていた。

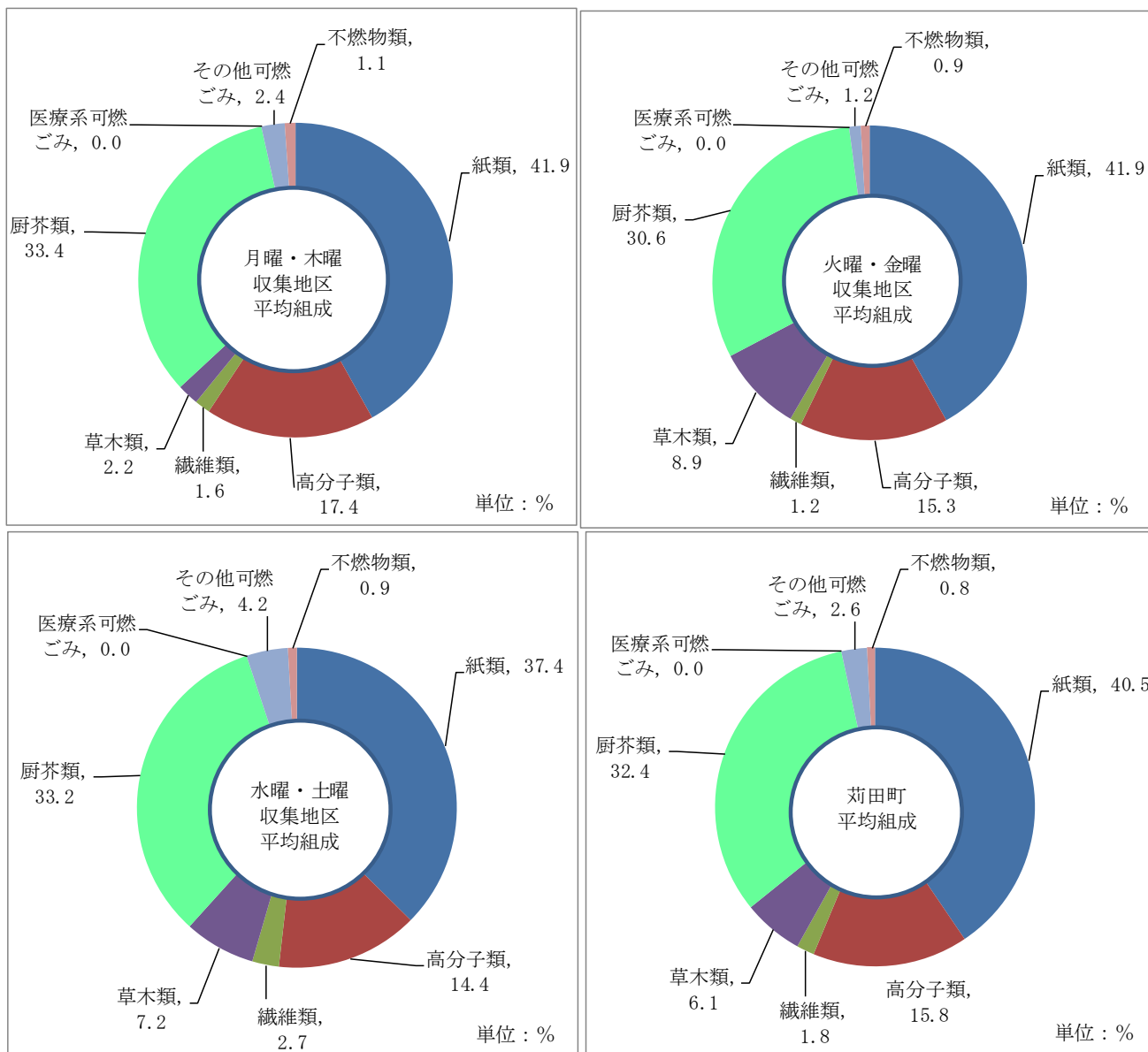


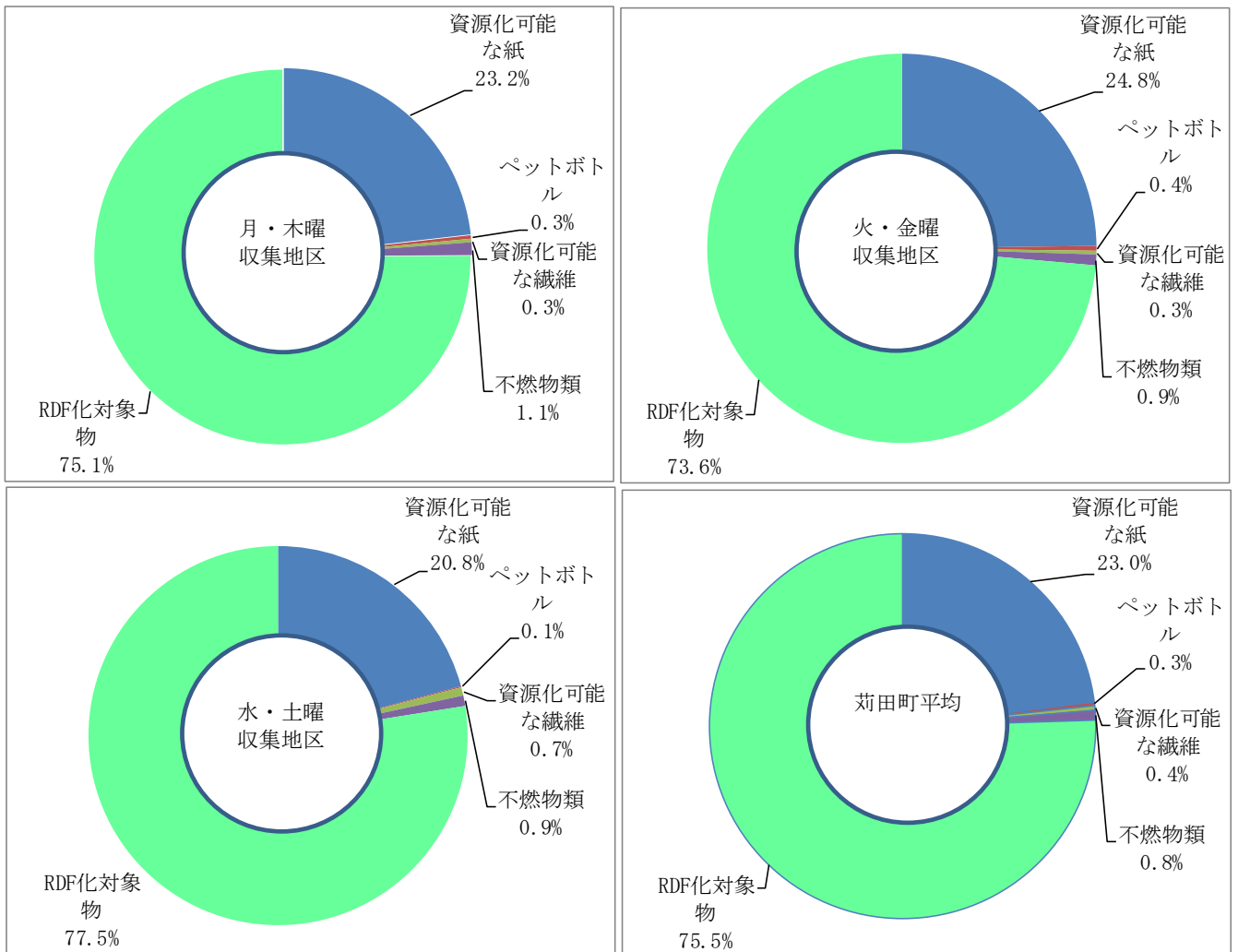
図 2-1 収集地区別ごみ組成

2. 資源ごみ・不燃物類の混入状況

荊田町では、新聞・雑誌・段ボール・古布等は、資源ごみとして地域の資源回収や拠点回収に出すことを奨励している。

これら資源ごみや燃料化に不適な不燃物類の混入状況を地区別に比較すると、図 2-2 のとおりであり、各地区とも資源ごみ・不燃物類の混入状況は、ごみ全体の 25%程度と大きな違いはなく、そのほとんどを紙類の資源ごみが占めていた。

紙以外の資源ごみ・不燃物類については、混入割合も 1%未満であることや、限られた袋以外からは見つからなかったことを考慮すると、分別が比較的徹底されているものと推察される。



備考：荊田町では、可燃ごみは固形燃料化（RDF化）処理を行っているが、本図においては、可燃ごみに混入している資源化可能物及び不燃物類（RDF化不適物）を除いたものをRDF化対象物と表記した。

図 2-2 資源ごみ・不燃物類の混入状況

資源ごみの中で最も多くの割合を占めている紙類について、品目（小分類）ごとの割合を地区別に比較すると、表 2-2、図 2-3 のとおりであり、各地区とも資源ごみとしては新聞・チラシ、リサイクル可能な容器包装等の紙類が比較的多くを占めている。

これを地区別にみると、月・木曜地区と火・金曜地区では大きな違いはないが、水・土曜地区は新聞・チラシの混入割合が他地区より多い反面、OA用紙、その他リサイクル可能な紙類の混入割合は少なくなっている。

表 2-2 紙類を 100 とした時の品目別組成

品目	地区名	地区名と組成 (%)			荻田町平均 (%)
		月・木曜収集	火・金曜収集	水・土曜収集	
資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	15.8	12.4	20.1	15.8
	OA用紙類	4.1	5.5	0.5	3.5
	雑誌・本	4.1	8.8	5.6	6.2
	段ボール	7.6	7.6	8.3	7.9
	紙パック	1.0	1.0	1.6	1.2
	その他リサイクル可能な容器包装紙類	11.2	9.8	11.5	10.9
	その他リサイクル可能な紙類	11.7	14.1	8.0	11.4
その他	リサイクルできない容器包装紙類	3.6	2.1	2.9	3.0
	紙おむつ	16.0	18.9	14.7	16.5
	その他リサイクルできない紙類	24.9	19.8	26.8	23.6

備考：資源ごみとは、資源回収に出すことを荻田町が奨励している品目を示す。

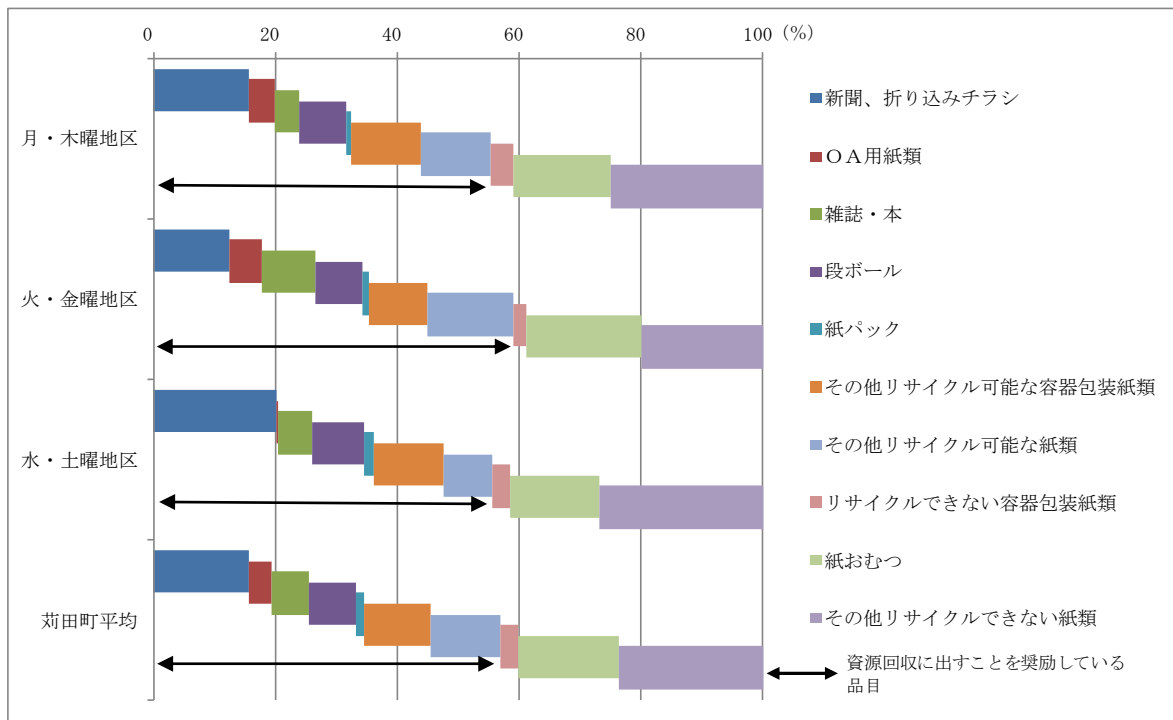


図 2-3 紙類を 100 とした時の品目別組成

3. 未利用食品の廃棄状況

厨芥類は、排出されたごみの中で紙類に次いで組成比が多い項目である。

しかし実際に廃棄されたものの中には、消費期限切れなどで利用されずに廃棄された食品も含まれていた。これらの未利用食品は、計画的に購入して消費することでごみの減量化が図れるものと考えられ、本年度新たに調査項目に加えたものである。

今回の調査における未利用食品の排出状況をまとめると表 2-3 のとおりであり、各地区とも厨芥類の内の 5% 程度を未利用食品が占めていた。なお、未利用食品の内容としてはパック詰めのもが多く、消費期限が不明な野菜などは比較的少なかった。

表 2-3 未利用食品の排出状況

	全ごみベース (%)				厨芥類ベース (%)			
	月・木曜 収集地区	火・金曜 収集地区	水・土曜 収集地区	菟田町平均	月・木曜 収集地区	火・金曜 収集地区	水・土曜 収集地区	菟田町平均
未利用食品	1.8	2.3	2.7	2.3	5.4	7.5	8.1	7.1
それ以外の厨芥類	31.6	28.3	30.5	30.1	94.6	92.5	91.9	92.9
厨芥類計	33.4	30.6	33.2	32.4	100.0	100.0	100.0	100.0

備考：全ごみベースとは、湿ベースのごみ全体を 100 とした時の割合であり、厨芥類ベースとは湿ベースの厨芥類全体を 100 とした時の割合を示す。

第2節 ごみ水分

ごみ組成別水分は、表 2-4 及び次のとおりである。

表 2-4 ごみ組成別水分

地区名・集計内容			月曜・木曜地区			火曜・金曜地区			水曜・土曜地区			菊田町平均		
			小分類別水分 (%)	湿ごみベース水分 (%)	大分類別水分 (%)	小分類別水分 (%)	湿ごみベース水分 (%)	大分類別水分 (%)	小分類別水分 (%)	湿ごみベース水分 (%)	大分類別水分 (%)	小分類別水分 (%)	湿ごみベース水分 (%)	大分類別水分 (%)
大分類	中分類	小分類												
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	9.8	0.6	27.5	9.9	0.5	30.1	9.6	0.7	27.1	9.8	0.6	28.2
		OA用紙	7.9	0.1		7.9	0.2		11.2	0.0		9.0	0.1	
		雑誌・本	4.8	0.1		5.3	0.2		7.0	0.1		5.7	0.1	
		段ボール	9.0	0.3		19.8	0.6		11.8	0.4		13.5	0.4	
		紙パック	10.3	0.0		15.1	0.1		14.4	0.1		13.3	0.1	
		その他容器包装紙類	14.4	0.7		16.1	0.7		13.0	0.6		14.5	0.7	
		その他リサイクル可能な紙類	8.8	0.4		12.7	0.7		10.5	0.3		10.7	0.5	
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	16.4	0.2	18.8	0.2	15.2	0.2	16.8	0.2				
		紙おむつ	70.7	4.7	74.6	5.9	65.8	3.6	70.4	4.7				
		その他リサイクルできない紙類	40.9	4.3	42.4	3.5	41.4	4.1	41.6	4.0				
高分子類	資源ごみ	ペットボトル(分別収集対象)	5.2	0.0	20.0	6.2	0.0	21.9	7.2	0.0	24.7	6.2	0.0	22.2
	その他	白色トレイ	6.4	0.0		6.9	0.0		3.7	0.0		5.7	0.0	
		レジ袋	28.9	0.6		39.8	0.7		22.9	0.4		30.5	0.6	
		発泡スチロール	2.8	0.0		0.0	0.0		3.0	0.0		1.9	0.0	
		容器包装のプラスチック	17.3	1.9		15.1	1.5		24.0	2.4		18.8	1.9	
その他プラスチック	24.8	1.0	38.8	1.0	30.3	0.8	31.3	0.9						
繊維類	資源化可能な繊維類	5.4	0.0	18.2	34.1	0.1	35.7	4.3	0.0	14.9	14.6	0.0	23.0	
	その他の繊維類	21.2	0.3		36.3	0.3		18.6	0.4		25.4	0.3		
草木類			28.4	0.6	28.4	47.4	4.2	47.4	50.4	3.6	50.4	42.1	2.8	42.1
厨芥類	未利用食品	60.4	1.1	72.4	69.3	1.6	76.9	72.8	2.0	77.9	67.5	1.6	75.7	
	それ以外	73.0	23.1		77.5	21.9		78.3	23.9		76.3	23.0		
医療系可燃ごみ			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
その他可燃ごみ			25.0	0.6	25.0	31.2	0.4	31.2	29.4	1.2	29.4	28.5	0.7	28.5
不燃物類	金属	鉄製缶類(分別対象)	3.0	0.0	3.6	1.4	0.0	4.3	0.0	0.0	6.0	1.5	0.0	4.6
		アルミ製缶類(分別対象)	8.7	0.0		6.8	0.0		0.0	0.0		5.2	0.0	
		その他の金属類(分別対象)	—	—		3.0	0.0		0.0	0.0		1.5	0.0	
	ガラス	ビン類(分別対象)	1.3	0.0		0.4	0.0		0.0	0.0		0.6	0.0	
		その他のガラス	—	—		6.3	0.0		—	—		6.3	0.0	
	有害物		0.0	0.0		—	—		0.0	0.0		0.0	0.0	
	その他不燃ごみ		4.1	0.0		4.5	0.0		6.7	0.1		5.1	0.0	
合計				40.6		44.3		44.9			43.2			

備考：湿ごみベースとは、湿った状態のごみ全体を100とした時の割合である。

ごみ全体の水分は、月・木曜収集地区が 40.6%、火・金曜収集地区が 44.3%、水・土曜収集地区が 44.9%であり、荏田町平均（43.2%）に対し大きな違いはない。

組成項目（大分類）別の水分は図 2-4 のとおりであり、火・金曜収集地区の繊維類が他地区よりやや多いこと、月・木曜収集地区の草木類が他地区よりやや少ないこと等若干の違いがみられる項目もあるが、ごみ組成及び水分が最も多い厨芥類や紙類、高分子類は、地区別でほとんど差がみられなかったため、ごみ全体の水分に大きな違いが生じなかったものと考えられる。

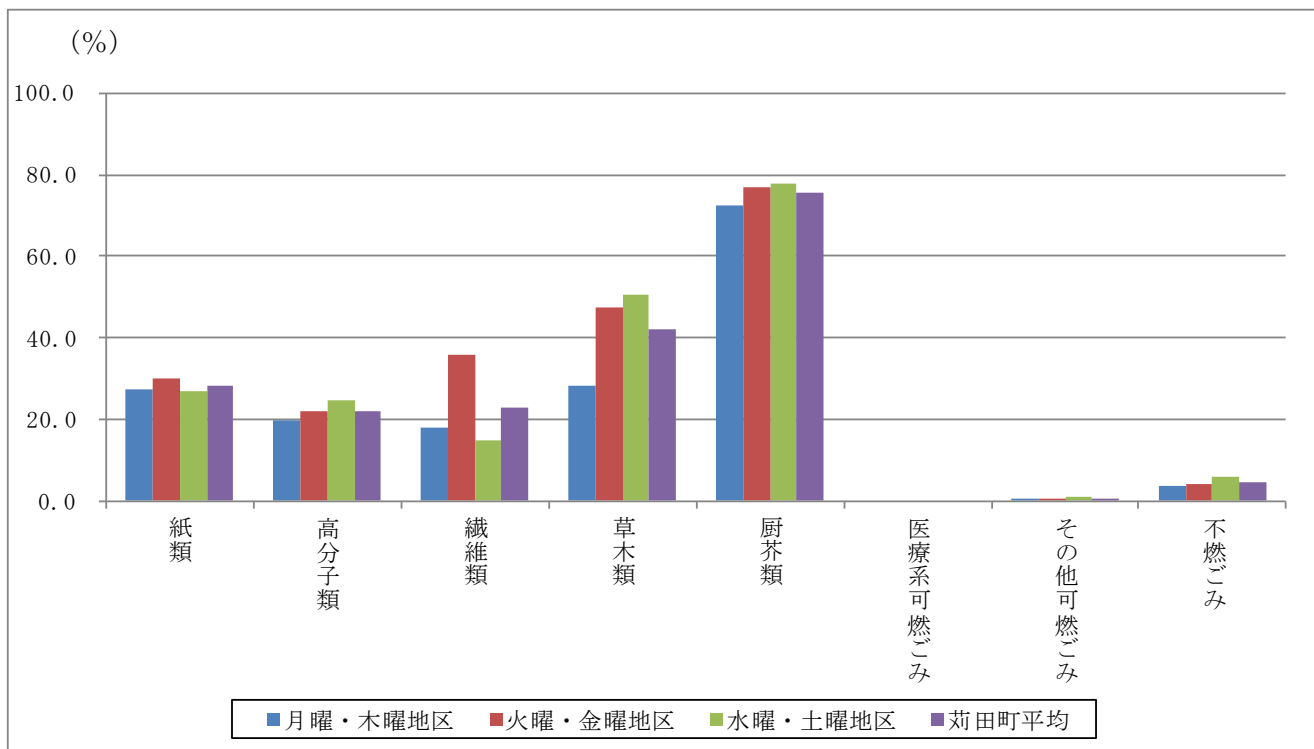


図 2-4 地区別、組成（大分類）別水分

第3節 前回調査結果との比較

1. ごみ組成の比較

荊田町では、平成23年度に同様なごみ組成調査を実施しており、各地区別に経年変化をまとめると、図2-5のとおりとなる。

月・木曜収集地区及び火・金曜収集地区は紙類の割合が増加しているが、水・土曜収集地区は反対に紙類の割合が減少している。

なお、紙類、厨芥類がごみ組成の7割程度を占めていることは、平成23年度から変わっていない。

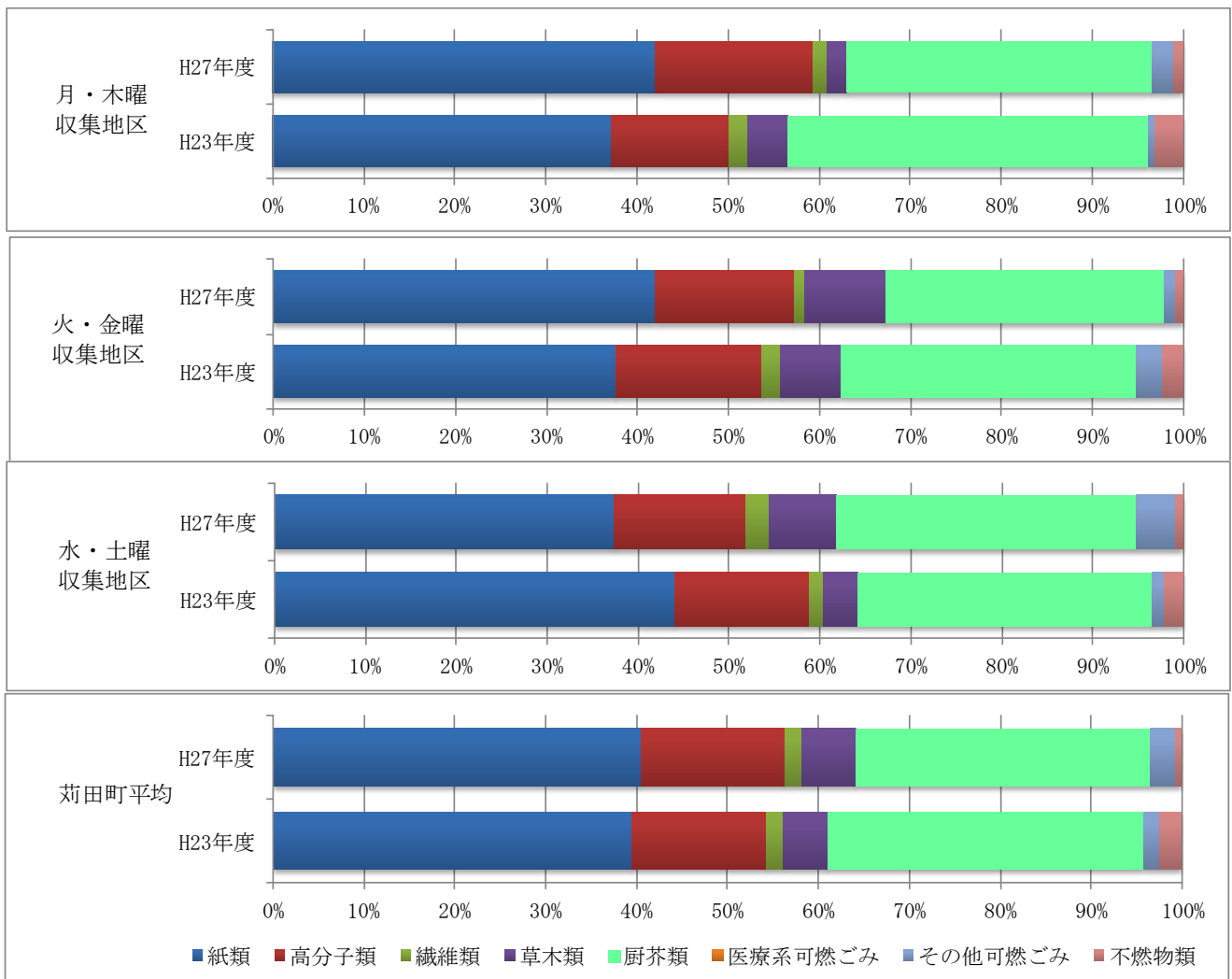


図2-5 地区別ごみ組成（大分類）の年度別比較

2. 資源ごみ・不燃物類の混入状況の比較

資源ごみ・不燃物類の混入状況について、年度別にまとめると表 2-5、図 2-6 のとおりである。

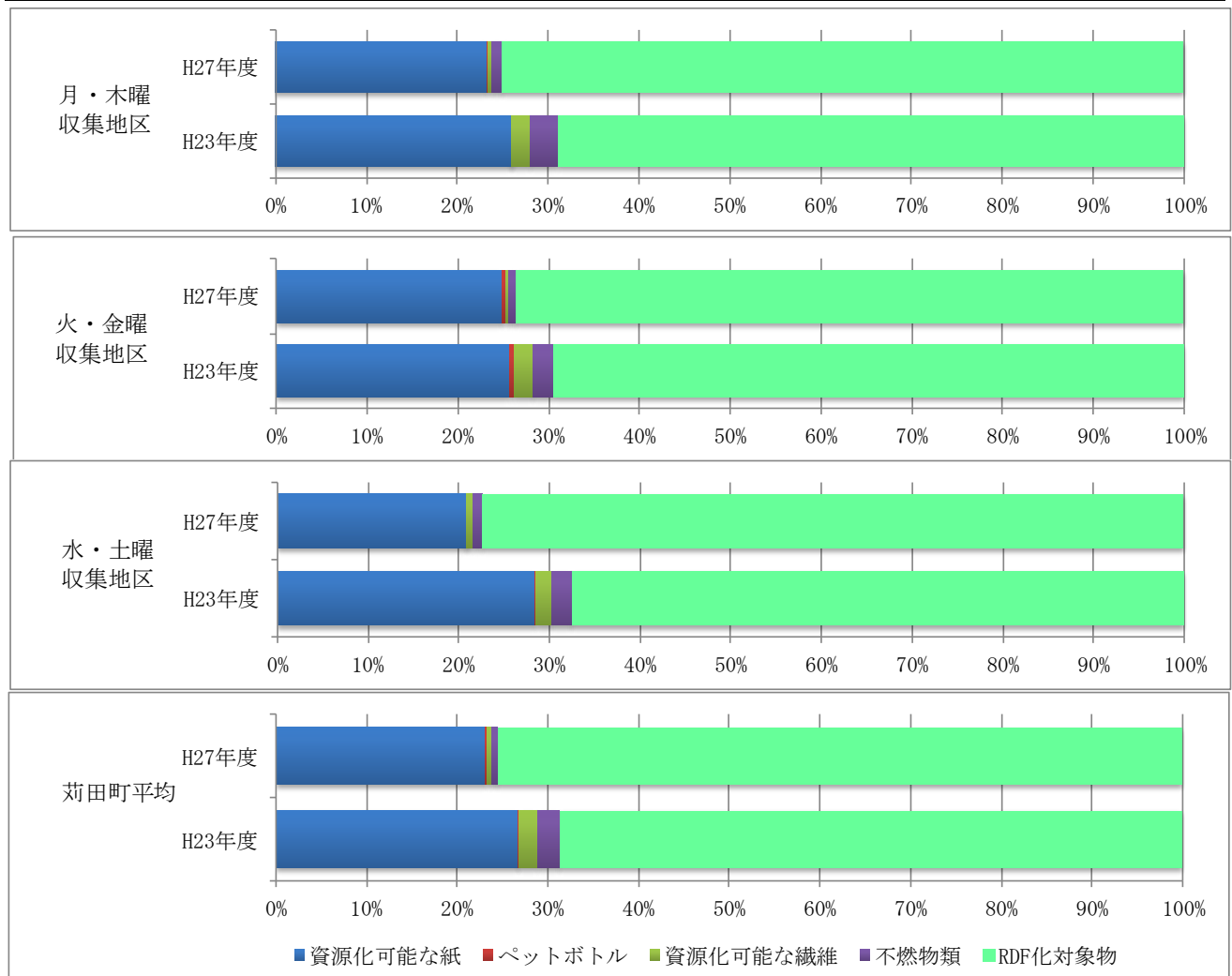
各地区とも資源化可能な品目と不燃物類の混入率が減少しており、特に水・土曜地区においては資源化可能な紙類の混入率が 28.4%から 20.8%と大きな減少を示していた。

また、各地区とも不燃物類の混入率が H23 年度より減少し 1%程度になっており、組成調査結果でも述べたように缶類やガラス類など明らかに不燃物であるごみの混入がほとんどなかったことを合わせて考慮すると、町民のごみ減量化につながる分別意識が向上しているものと考えられる。

表 2-5 資源ごみ・不燃物類の混入状況の比較

単位：%

項目	月・木曜地区		火・金曜地区		水・土曜地区		荇田町平均	
	H23	H27	H23	H27	H23	H27	H23	H27
資源化可能な紙	25.9	23.2	25.7	24.8	28.4	20.8	26.6	23.0
ペットボトル	0.1	0.3	0.5	0.4	0.2	0.1	0.3	0.3
資源化可能な繊維	2.0	0.3	2.0	0.3	1.6	0.7	1.9	0.4
不燃物類	3.1	1.1	2.3	0.9	2.2	0.9	2.5	0.8
RDF 化対象物	68.9	75.1	69.5	73.6	67.6	77.5	68.7	75.5



備考：荇田町では、可燃ごみは固形燃料化（RDF化）処理を行っているが、本図においては、可燃ごみに混入している資源化可能物及び不燃物類（RDF化不適物）を除いたものをRDF化対象物と表記した。

図 2-6 資源ごみ・不燃物類の混入状況の比較

3. 水分の比較

組成（大分類）毎の水分を地区・年度別に比較すると、表 2-6、図 2-7 のとおりである。

荊田町全体のごみ全体の水分は、前回調査時と大きな違いはみられなかったが、地区別にみると、増加もしくは減少しており、特に水・土曜収集地区が前回調査より7%程度水分が多くなっている。これは、前回調査時には比較的少なかった厨芥類の水分が9%程度増加し、他地区と同レベルとなったことが影響しているものと考えられる。

表 2-6 水分の比較

単位：%

項目	地区・年度		月・木曜収集地区		火・金曜収集地区		水・土曜収集地区		荊田町平均	
	H23年度	H27年度	H23年度	H27年度	H23年度	H27年度	H23年度	H27年度	H23年度	H27年度
紙類	20.3	27.5	21.6	30.1	23.5	27.1	22.0	28.2	22.0	28.2
高分子類	26.2	20.0	15.3	21.9	16.2	24.7	19.2	22.2	19.2	22.2
繊維類	25.1	18.2	20.5	35.7	17.8	14.9	21.1	23.0	21.1	23.0
草木類	1.8	28.4	3.3	47.4	1.3	50.4	2.0	42.1	2.0	42.1
厨芥類	79.5	72.4	76.1	76.9	68.4	77.9	74.7	75.7	74.7	75.7
医療系可燃ごみ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他可燃ごみ	19.5	25.0	29.2	31.2	31.4	29.4	26.7	28.5	26.7	28.5
不燃物類	6.4	3.6	9.9	4.3	7.3	6.0	7.9	4.6	7.9	4.6
ごみ全体	45.5	40.6	40.1	44.3	37.4	44.9	41.0	43.2	41.0	43.2

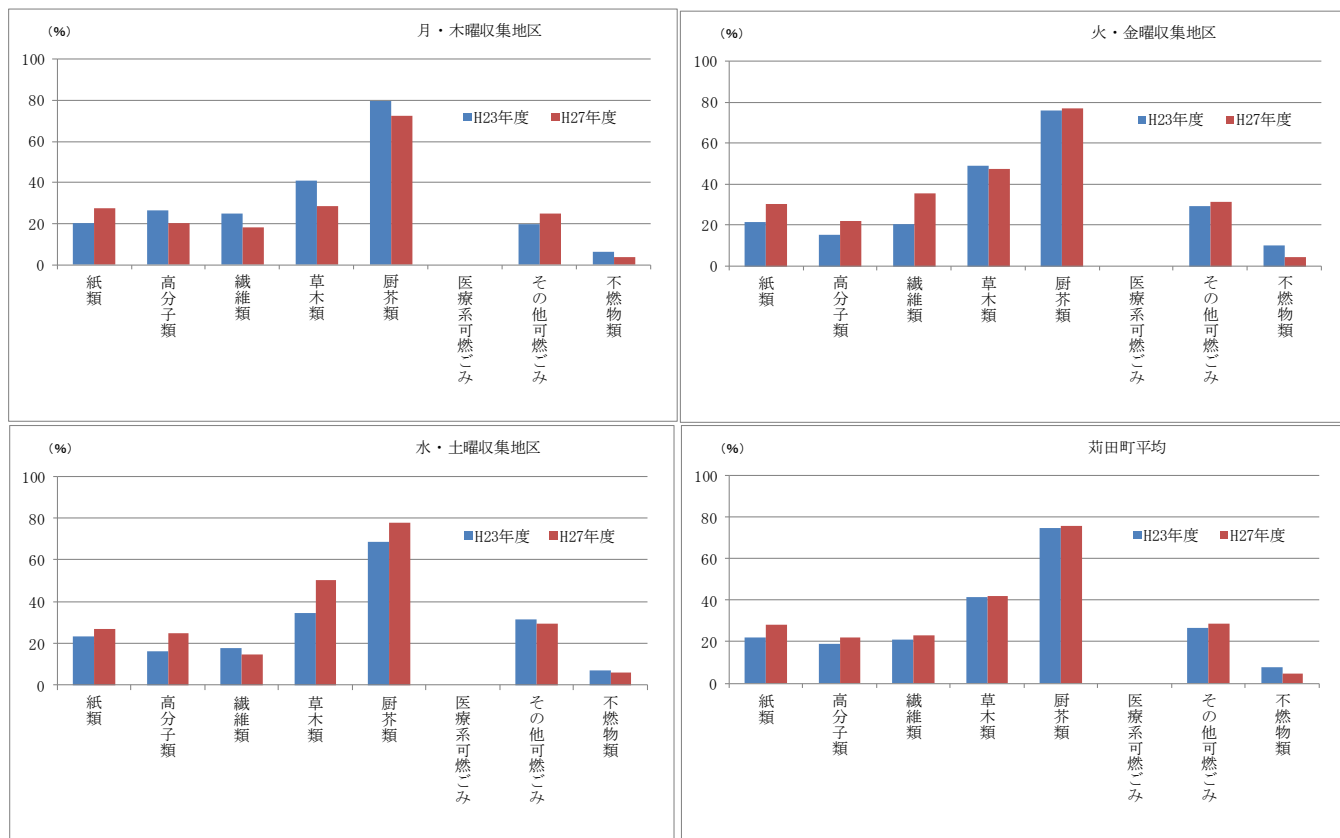


図 2-7 水分の比較

資 料

収集地区別詳細（各収集地域別の調査結果）

組成分類結果（月・木曜収集地区）

単位：%

地域・地区名、調査日			馬場・堤地域			緑ヶ丘・尾倉(日豊線より山側)地域			白川地域			月・木曜収集地区			
			平成28年2月29日			平成28年2月29日			平成28年3月17日			平均			
組成項目															
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	7.2			5.7			7.0			6.6			
		OA用紙類	3.7			0.7			0.6			1.7			
		雑誌・本	2.4			2.8			0.0			1.7			
		段ボール	2.6	28.1		2.5	21.9		4.4	19.3		3.2	23.2		
		紙パック	0.3			0.4			0.4			0.4			
		その他リサイクル可能な容器包装紙類	5.2		48.6	6.1		39.1	2.7		37.9	4.7		41.9	
		その他リサイクル可能な紙類	6.7			3.7			4.2			4.9			
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	2.7			0.9			1.0			1.5			
		紙おむつ	8.7	20.5		6.4	17.2		5.0	18.6		6.7	18.7		
		その他リサイクルできない紙類	9.1			9.9			12.6			10.5			
高分子類	資源ごみ	ペットボトル(分別収集対象)	0.6	0.6		0.1	0.1		0.1	0.1		0.3	0.3		
	その他	白色トレイ	0.2			0.3			0.2			0.2			
		レジ袋	1.6		16.6	2.1		19.4	2.2		16.2	2.0	17.4		
		発泡スチロール	0.1	16.0		0.0	19.3		0.0	16.1		0.0	17.1		
		容器包装のプラスチック	10.1			12.2			10.3			10.9			
その他プラスチック類	4.0			4.7			3.4			4.0					
繊維類	資源化可能な繊維類	0.3			0.0			0.6			0.3				
	その他の繊維類	1.6		1.9	1.3		1.3	1.1		1.7	1.3	1.6			
草・木類			1.2			0.4			5.1			2.2			
厨芥類	未利用食品	1.9		28.8	2.0		36.5	1.5		34.6	1.8		33.4		
	上記以外の厨芥	26.9			34.5			33.1			31.6				
医療系可燃ごみ			0.0			0.0			0.0			0.0			
その他可燃ごみ			1.4			2.2			3.6			2.4			
不燃物類	金属	鉄製缶類(分別対象)	0.1			0.0			0.0			0.0			
		アルミ製缶類(分別対象)	0.1	0.2		0.0	0.0		0.0	0.0		0.0	0.0		
		その他の金属類(分別対象)	0.0			0.0			0.0			0.0			
	ガラス	ビン類(分別対象)	0.2		1.5	0.0		1.1	0.3		0.9	0.2			
		その他のガラス	0.0	0.2		0.0	0.0		0.0	0.3		0.0	0.2		
	有害物			0.0			0.0			0.0			0.0		
	その他不燃ごみ			1.1			1.1			0.6			0.9		
合計			100.0			100.0			100.0			100.0			

組成分類結果（火・金曜収集地区）

単位：%

地域・地区名、調査日			与原・白石地域			尾倉（日豊線より海側）・小波瀬地域			新津（日豊線より海側）地域			火・金曜収集地区			
			平成28年2月26日			平成28年3月18日			平成28年3月18日			平均			
組成項目															
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	4.6			5.1			5.9			5.2			
		OA用紙類	0.3			0.1			6.5			2.3			
		雑誌・本	1.6			3.5			6.0			3.7			
		段ボール	4.6	20.6		2.0	17.7		3.0	36.1		3.2	24.8		
		紙パック	0.5			0.4			0.4			0.4			
		その他リサイクル可能な容器包装紙類	5.7		44.6	4.0		35.0	2.5		45.9	4.1		41.9	
		その他リサイクル可能な紙類	3.3			2.6			11.8			5.9			
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	0.8			1.4			0.5			0.9			
		紙おむつ	12.6	24.0		9.6	17.3		1.4	9.8		7.9	17.1		
		その他リサイクルできない紙類	10.6			6.3			7.9			8.3			
高分子類	資源ごみ	ペットボトル(分別収集対象)	0.3	0.3		0.9	0.9		0.1	0.1		0.4	0.4		
	その他	白色トレイ	0.2			0.2			0.1			0.2			
		レジ袋	1.9		17.5	1.9		18.6	1.6		9.9	1.8			
		発泡スチロール	0.1	17.2		0.0	17.7		0.0	9.8		0.0	14.9		
		容器包装のプラスチック	12.9			10.9			6.8			10.2			
その他プラスチック類	2.1			4.7			1.3			2.7					
繊維類	資源化可能な繊維類	0.0			0.8			0.1			0.3				
	その他の繊維類	0.8		0.8	1.5		2.3	0.5		0.6	0.9	1.2			
草・木類			1.3			7.0			18.5			8.9			
厨芥類	未利用食品	3.5			2.8			0.5			2.3				
	上記以外の厨芥	30.7		34.2	31.1		33.9	23.1		23.6	28.3	30.6			
医療系可燃ごみ			0.0			0.0			0.0			0.0			
その他可燃ごみ			0.5			2.2			0.8			1.2			
不燃物類	金属	鉄製缶類（分別対象）	0.0			0.1			0.0			0.0			
		アルミ製缶類（分別対象）	0.1	0.3		0.3	0.6		0.0	0.0		0.1	0.2		
		その他の金属類（分別対象）	0.2			0.2			0.0			0.1			
	ガラス	ビン類（分別対象）	0.0		1.1	0.1		1.0	0.1		0.7	0.1			
		その他のガラス	0.0	0.0		0.2	0.3		0.0	0.1		0.1	0.2		
	有害物			0.0			0.0			0.0			0.0		
	その他不燃ごみ			0.8			0.1			0.6			0.5		
合計			100.0			100.0			100.0			100.0			

組成分類結果（水・土曜収集地区）

単位：%

地域・地区名、調査日			京町・神田町1丁目		松山・若久・松原		京町地域			水・土曜収集地区			
			地域		地域		地域			平均			
組成項目			平成28年3月16日		平成28年3月16日		平成28年3月23日						
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	11.0		6.3		5.3		7.5				
		OA用紙類	0.1		0.1		0.5		0.2				
		雑誌・本	0.1		6.1		0.1		2.1				
		段ボール	1.6	20.0	4.6	24.8	3.0	17.9	3.1	20.8			
		紙パック	0.5		0.8		0.5		0.6				
		その他リサイクル可能な容器包装紙類	3.5		4.6		4.9		4.3				
		その他リサイクル可能な紙類	3.2		2.3		3.6		3.0				
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	0.8		0.8		1.7		1.1				
		紙おむつ	5.8	16.0	3.5	12.7	7.1	21.0	5.5	16.6			
		その他リサイクルできない紙類	9.4		8.4		12.2		10.0				
高分子類	資源ごみ	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1				
	その他	白色トレイ	0.1		0.1		0.2		0.1				
		レジ袋	1.2		1.6		2.1		1.6				
		発泡スチロール	0.1	13.0	0.0	14.3	0.0	16.1	0.0	14.3			
		容器包装のプラスチック	9.8		9.6		11.0		10.1				
その他プラスチック類	1.8		3.0		2.8		2.5						
繊維類	資源化可能な繊維類	0.0		1.3		0.8		0.7					
	その他の繊維類	0.8	0.8	1.4	2.7	3.8	4.6	2.0	2.7				
草・木類			6.2		7.2		8.3			7.2			
厨芥類	未利用食品	6.7		0.7		0.6		2.7					
	上記以外の厨芥	33.7	40.4	32.5	33.2	24.5	25.1	30.5	33.2				
医療系可燃ごみ			0.0		0.0		0.0			0.0			
その他可燃ごみ			3.2		2.7		6.6			4.2			
不燃物類	金属	鉄製缶類（分別対象）	0.0		0.0		0.1		0.0				
		アルミ製缶類（分別対象）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0			
		その他の金属類（分別対象）	0.0		0.0		0.0		0.0				
	ガラス	ビン類（分別対象）	0.2	0.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.1	0.1	0.9		
		その他のガラス	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1			
	有害物			0.0		0.0		0.0			0.0		
	その他不燃ごみ			0.1		2.3		0.1			0.8		
合計			100.0		100.0		100.0			100.0			

水分測定結果（月・木曜収集地区）

単位：％

地域・地区名、調査日			馬場・堤地域			緑ヶ丘・尾倉 (日豊線より山側)地域			白川地域			月・木曜収集地区平均		
			平成 28 年 2 月 29 日 (曇)						平成 28 年 3 月 17 日 (晴)					
			組成項目		項目別 水分 (%)	ごみ全体として の水分 (%)		項目別 水分 (%)	ごみ全体として の水分 (%)		項目別 水分 (%)	ごみ全体として の水分 (%)		項目別 水分 (%)
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	10.4	0.7	12.0	11.8	0.7	10.5	7.3	0.5	12.3	9.8	0.6	11.4
		OA用紙	5.5	0.2		7.9	0.1		10.3	0.1		7.9	0.1	
		雑誌・本	4.4	0.1		5.2	0.1		—	—		4.8	0.1	
		段ボール	7.5	0.2		8.5	0.2		11.0	0.5		9.0	0.3	
		紙パック	9.9	0.0		11.5	0.0		9.4	0.0		10.3	0.0	
		その他容器包装紙類	15.4	0.8		14.4	0.9		13.5	0.4		14.4	0.7	
		その他リサイクル可能な紙類	7.0	0.5		7.9	0.3		11.4	0.5		8.8	0.4	
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	18.2	0.5	13.8	0.1	17.1	0.2	16.4	0.2				
		紙おむつ	62.3	5.4	72.7	4.7	77.0	3.9	70.7	4.7				
		その他リサイクルできない紙類	39.7	3.6	34.0	3.4	48.9	6.2	40.9	4.3				
高分子類	資源ごみ	ペットボトル (分別収集対象)	4.3	0.0	2.9	5.4	0.0	4.3	5.9	0.0	3.1	5.2	0.0	3.5
		白色トレイ	7.1	0.0		7.3	0.0		4.8	0.0		6.4	0.0	
	その他	レジ袋	20.9	0.3		38.8	0.8		26.9	0.6		28.9	0.6	
		発泡スチロール	2.8	0.0		—	—		—	—		2.8	0.0	
		容器包装のプラスチック	17.5	1.8		20.4	2.5		13.9	1.4		17.3	1.9	
		その他プラスチック	20.1	0.8		21.9	1.0		32.5	1.1		24.8	1.0	
繊維類	資源化可能な繊維類	1.2	0.0	0.4	—	—	0.1	9.5	0.1	0.5	5.4	0.0	0.3	
	その他の繊維類	23.1	0.4		6.6	0.1		33.8	0.4		21.2	0.3		
草木類			16.5	0.2	23.7	0.1	45.1	2.3	28.4	0.6				
厨芥類	未利用食品	67.2	1.3	20.6	59.9	1.2	26.5	54.0	0.8	25.3	60.4	1.1	24.2	
	それ以外	71.9	19.3		73.2	25.3		74.0	24.5		73.0	23.1		
医療系可燃ごみ			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
その他可燃ごみ			17.4	0.2	25.7	0.6	31.8	1.1	25.0	0.6				
不燃物類	金属	鉄製缶類 (分別対象)	3.2	0.0	0.1	—	—	0.0	2.7	0.0	0.0	3.0	0.0	—
		アルミ製缶類 (分別対象)	10.4	0.0		—	—		6.9	0.0		8.7	0.0	
		その他の金属類 (分別対象)	—	—		—	—		—	—		—	—	
	ガラス	ビン類 (分別対象)	0.0	0.0		—	—		2.6	0.0		1.3	0.0	
		その他のガラス	—	—		—	—		—	—		—	—	
	有害物		0.0	0.0		—	—		—	—		0.0	0.0	
	その他不燃ごみ		5.6	0.1		0.0	0.0		6.6	0.0		4.1	0.0	
合計				36.4		42.1		44.6		40.6				

備考：1.「-」は、該当する項目がなかったことを示す。
 2. ごみ全体の水分は、項目別水分に当該項目の湿組成を乗じて算出した。

水分測定結果（火・金曜収集地区）

単位：％

地域・地区名、調査日 組成項目			与原・白石地域		尾倉(日豊線より海側)・小波瀬地域		新津(日豊線より海側)地域		火・金曜収集地区平均					
			平成28年2月26日(晴)		平成28年3月18日(雨)									
			項目別水分(%)	ごみ全体としての水分(%)	項目別水分(%)	ごみ全体としての水分(%)	項目別水分(%)	ごみ全体としての水分(%)	項目別水分(%)	ごみ全体としての水分(%)	項目別水分(%)	ごみ全体としての水分(%)		
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	9.2	0.4	16.3	11.6	0.6	12.7	9.0	0.5	8.1	9.9	0.5	12.6
		OA用紙	6.9	0.0		9.5	0.0		7.3	0.5		7.9	0.2	
		雑誌・本	4.5	0.1		6.5	0.2		5.0	0.3		5.3	0.2	
		段ボール	10.3	0.5		29.5	0.6		19.6	0.6		19.8	0.6	
		紙パック	9.9	0.0		26.1	0.1		9.4	0.0		15.1	0.1	
		その他容器包装紙類	18.9	1.1		14.1	0.6		15.3	0.4		16.1	0.7	
		その他リサイクル可能な紙類	12.9	0.4		15.8	0.4		9.4	1.1		12.7	0.7	
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	20.9	0.2		20.8	0.3		14.7	0.1		18.8	0.2	
		紙おむつ	75.5	9.5		74.5	7.2		73.7	1.0		74.6	5.9	
その他リサイクルできない紙類		38.6	4.1	43.1	2.7	45.6	3.6	42.4	3.5					
高分子類	資源ごみ	ペットボトル(分別収集対象)	3.7	0.0	3.2	8.2	0.1	5.2	6.8	0.0	2.1	6.2	0.0	3.2
	その他	白色トレイ	2.1	0.0		10.3	0.0		8.3	0.0		6.9	0.0	
		レジ袋	33.3	0.6		38.8	0.7		47.3	0.8		39.8	0.7	
		発泡スチロール	0.0	0.0		0.0	0.0		—	—		0.0	0.0	
		容器包装のプラスチック	15.2	2.0		18.1	2.0		11.9	0.8		15.1	1.5	
		その他プラスチック	29.4	0.6		50.3	2.4		36.8	0.5		38.8	1.0	
繊維類	資源化可能な繊維類	—	—	0.1	18.9	0.2	0.7	49.3	0.0	0.3	34.1	0.1	0.4	
	その他の繊維類	17.4	0.1		35.2	0.5		56.4	0.3		36.3	0.3		
草木類			27.9	0.4	49.2	3.4	65.1	12.0	47.4	4.2				
厨芥類	未利用食品		76.2	2.7	26.6	73.3	2.1	25.8	58.3	0.3	18.4	69.3	1.6	23.5
	それ以外		78.0	23.9		76.2	23.7		78.3	18.1		77.5	21.9	
医療系可燃ごみ			—	—	—	—	—	—	—	—				
その他可燃ごみ			18.1	0.1	38.5	0.8	37.1	0.3	31.2	0.4				
不燃物類	金属	鉄製缶類(分別対象)	—	—	0.1	1.4	0.0	0.0	—	—	0.0	1.4	0.0	0.0
		アルミ製缶類(分別対象)	8.0	0.0		12.3	0.0		0.0	0.0		6.8	0.0	
		その他の金属類(分別対象)	4.3	0.0		0.5	0.0		4.2	0.0		3.0	0.0	
	ガラス	ビン類(分別対象)	—	—		0.0	0.0		0.8	0.0		0.4	0.0	
		その他のガラス	12.5	0.0		0.0	0.0		—	—		6.3	0.0	
	有害物		—	—		—	—		—	—		—	—	
	その他不燃ごみ		6.6	0.1		4.7	0.0		2.1	0.0		4.5	0.0	
合計			46.8		48.6		41.2		44.3					

備考：1.「-」は、該当する項目がなかったことを示す。
 2. ごみ全体の水分は、項目別水分に当該項目の湿組成を乗じて算出した。

水分測定結果（水・土曜収集地区）

単位：％

地域・地区名、調査日		京町・神田町1丁目地域				松山・若久・松原地域				京町地域				水・土曜収集地区平均	
		平成28年3月16日(晴)								平成28年3月23日(晴)					
		組成項目		項目別水分(%)		ごみ全体としての水分(%)		項目別水分(%)		ごみ全体としての水分(%)		項目別水分(%)		ごみ全体としての水分(%)	
紙類	資源ごみ	新聞、折り込みチラシ	11.0	1.2	10.9	9.5	0.6	7.7	8.3	0.4	12.0	9.6	0.7	10.1	
		OA用紙	16.7	0.0		7.9	0.0		9.0	0.0		11.2	0.0		
		雑誌・本	5.0	0.0		9.8	0.6		6.2	0.0		7.0	0.1		
		段ボール	9.7	0.2		6.0	0.3		19.6	0.6		11.8	0.4		
		紙パック	18.0	0.1		12.0	0.1		13.2	0.1		14.4	0.1		
		その他容器包装紙類	15.4	0.5		10.9	0.5		12.7	0.6		13.0	0.6		
		その他リサイクル可能な紙類	9.2	0.3		11.9	0.3		10.4	0.4		10.5	0.3		
	その他	リサイクルできない容器包装紙類	8.3	0.1	21.8	0.2	15.6	0.3	15.2	0.2					
		紙おむつ	62.6	3.6	67.1	2.3	67.6	4.8	65.8	3.6					
		その他リサイクルできない紙類	51.9	4.9	33.0	2.8	39.3	4.8	41.4	4.1					
高分子類	資源ごみ	ペットボトル(分別収集対象)	6.0	0.0	3.3	10.3	0.0	3.1	5.3	0.0	4.2	7.2	0.0	3.6	
	その他	白色トレイ	4.5	0.0		0.0	0.0		6.7	0.0		3.7	0.0		
		レジ袋	31.0	0.4		8.8	0.1		28.8	0.6		22.9	0.4		
		発泡スチロール	3.0	0.0		—	—		—	—		3.0	0.0		
		容器包装のプラスチック	22.2	2.2		25.0	2.4		24.8	2.7		24.0	2.4		
		その他プラスチック	38.3	0.7		18.8	0.6		33.8	0.9		30.3	0.8		
繊維類	資源化可能な繊維類	—	—	0.2	5.9	0.1	0.5	2.7	0.0	0.3	4.3	0.0	0.4		
	その他の繊維類	20.2	0.2		28.3	0.4		7.2	0.3		18.6	0.4			
草木類		43.1	2.7	47.5	3.4	60.7	5.0	50.4	3.6						
厨芥類	未利用食品	58.8	3.9	30.7	71.6	0.5	25.9	87.9	0.5	19.4	72.8	2.0	25.9		
	それ以外	79.6	26.8		78.1	25.4		77.1	18.9		78.3	23.9			
医療系可燃ごみ		—	—	—	—	—	—	—	—						
その他可燃ごみ		25.3	0.8	33.9	0.9	29.1	1.9	29.4	1.2						
不燃物類	金属	鉄製缶類(分別対象)	—	—	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	
		アルミ製缶類(分別対象)	0.0	0.0		—	—		—	—		0.0	0.0		
		その他の金属類(分別対象)	—	—		—	—		0.0	0.0		0.0	0.0		
	ガラス	ビン類(分別対象)	0.0	0.0		—	—		—	—		—	—		
		その他のガラス	—	—		—	—		—	—		—	—		
	有害物	—	—	—		—	0.0		0.0	0.0		0.0			
	その他不燃ごみ	5.9	0.0	8.8		0.2	5.4		0.0	6.7		0.1			
合計		48.6		41.7		42.8		44.9							

備考：1.「-」は、該当する項目がなかったことを示す。
 2. ごみ全体の水分は、項目別水分に当該項目の湿組成を乗じて算出した。